

# ワークショップ ミリタリーをどうするか — ガルトゥング博士とともに考える —

日時: 9月16日(金) 14:00-17:00

会場: 立命館大学国際平和ミュージアム  
1階中野記念ホール

講師: ヨハン・ガルトゥング博士(平和学者)

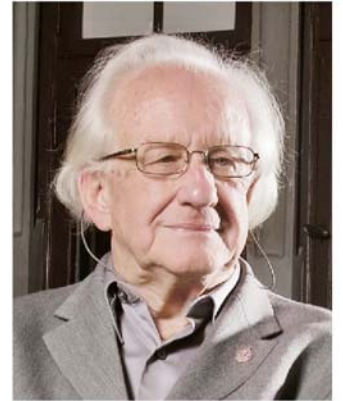
通訳: 西村 文子氏

コーディネーター:

君島 東彦(立命館大学国際関係学部教授)

奥本 京子(大阪女学院大学国際・英語学部教授)

入場無料



ヨハン・ガルトゥング(Johan Galtung)

1930年生まれ。ノルウェー出身の平和学者。1960年代から世界の平和研究・紛争研究をリードしてきた。オスロ国際平和研究所(PRIO)の設立、平和概念の再定義(直接的暴力・構造的暴力・文化的暴力の克服としての平和)、平和のためのネットワーク「トランセンド」の設立などが特筆すべき業績の一部である。10年前、立命館大学国際関係学部客員教授もつとめた。論文・著作多数。詳しくは [www.transcend.org](http://www.transcend.org)/および [www.transcendjapan.net](http://www.transcendjapan.net)/参照。

ワークショップの流れ \*途中休憩を入れ、全体で3時間です。

- ガルトゥング博士によるレクチャー(通訳含め1時間)
- 参加者全員でのグループ・ディスカッション(30分)
- ガルトゥング博士への質疑応答(1時間)

「ミリタリーをどうするか」。日本国憲法9条と自衛隊の両方をもつ、戦後日本社会の大きなテーマです。自衛隊は、日米同盟のもとでイラクへ派遣される一方、東日本大震災後など、活発な救援活動をしています。ガルトゥング博士は以前から、ミリタリーの暴力性を減らして、新しい任務を与えよ、と主張してきました。自衛隊を災害救援隊に変革して日本国憲法9条に適合させよという主張もあります。このワークショップでは、ミリタリーの非暴力化・変革をどのように追求しうるのか、考えてみたいと思います。

主催: 立命館大学大学院国際関係研究科、R-GIRO研究プログラム

共催: 立命館大学国際平和ミュージアム

問合せ: Tel.075-465-8151 Fax.075-465-7899

立命館大学  
国際平和ミュージアム  
Kyoto Museum for World Peace,  
Ritsumeikan University

常設展示をご見学の場合は入館料が必要です。  
立命館で学ぶ人・働く人は無料です。  
大人400円、中・高生300円、小学生200円  
京都市北区等持院北町56-1



(交通案内)

JR・近鉄京都駅より 市バス50 JRバス周山行  
JR・地下鉄二条駅より 市バス15-50  
地下鉄北大路駅より 市バス204-205  
京阪電車三条駅より 市バス15-59  
阪急電車烏丸駅より 市バス12-51-55  
阪急電車西院駅より 市バス205  
JR円町駅より 市バス15-204-205

市バス15-50-51-59にて「立命館大学前」下車/徒歩5分  
市バス204-205にて「わら天神前」下車/徒歩10分

※お車でのご来館はご遠慮ください。